

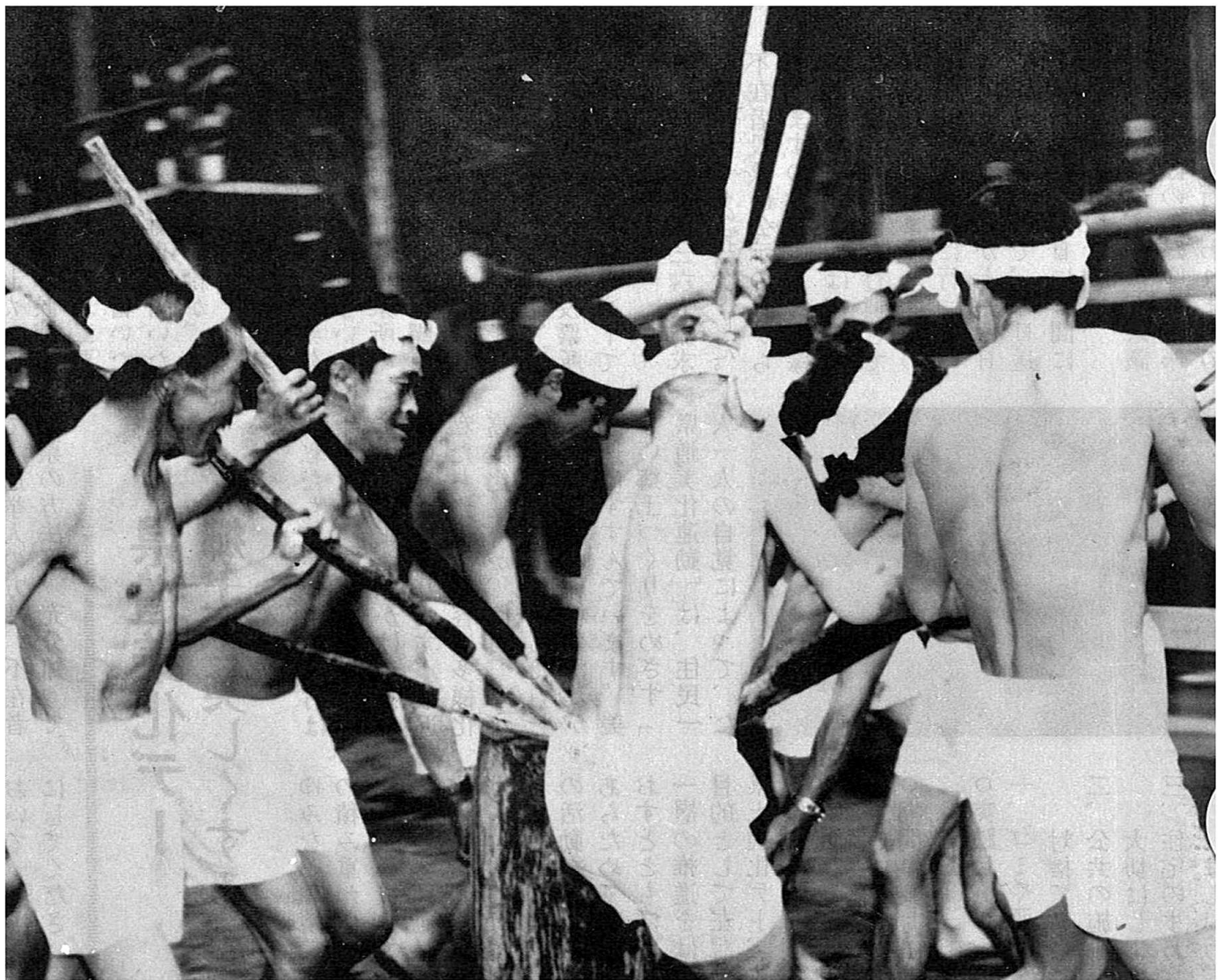
報 廣

なかつ先

49年 8 月号

第128号

発行所
編集発行人
大分県・日田
中津江村
齊藤隆一



夏祭り

つゆが明けると全国的に夏祭りのシーズンになり、あちこちの夏祭りの話題がマスコミをにぎわす。わが村にも七四〇年の伝統を誇る宮園のもちつき祭りが七月十五日に行なわれ「祝いめでたや若松さまよ……」「ア、モックリ、モックリヨ」と由来のとおり古武士のがい旋を思わせる勇壮さで、あめ色の小麦もちがつきあげられていく。伝統あるこの行事も過疎化と老令化の波にもまれ、その保存に頭がいたい。古人の残した大きな遺産を守り育てたい。

人口の動態

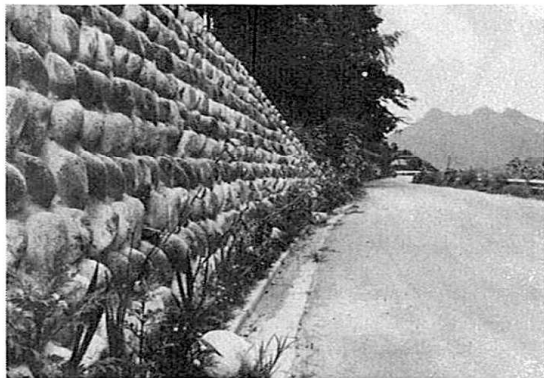
昭和49年 7 月31日現在
人 口 2,518人
男 1,193人
女 1,325人
世帯数 621戸

参議院議員選挙を終わって

去る七月七日に行なわれた参議院議員選挙は、投票総数一四〇〇人で当日有権者一七二四

のが、三〇票、雑事を記載したもの四票、候補者以外の者の氏名を書いたもの八

票、その他三票でした。全国区では、地方区の候補者の氏名を書いたもの二二票、字か絵か、わからないもの一一票、白紙四票でした。折角投票所に行きながら、こうした無効投票になることは惜しいことです。なお、各投票所の投票率は第一投票所(鯛生)七七パーセント、第二投票所(丸蔵)七八パーセント、第三投票所(川辺)八三パーセント、第四投票所(野田)八九パーセントでした。不在者投票は三六人請求して、三五人の投票でした。不在者投票は公示の日からできますので、遠くに出稼等に行っている人は、早目にして、選挙権を行使してほしいと思います。今度の選挙で、愛知県に行っている人から請求書が七月四日に届きましたので、即日送りました。投票日には間に合いませんでした。



で、選挙人の方は、不在者において、棄権をしないよう投票の方法等、充分知ってにしてください。

県道美化デー 郷土を美しくする週間

私たちの住む中津江村は住民にとっては生活の基盤であり、また、かけがえのない郷土であります。最近私たちの生活内容は多様化高度化した。他面、ぼう大なゴミの増加をもたらした。私たちの生活環境の汚れが急速にすすんでいます。美しい郷土づくりをめざす「県道美化運動」は、住民一人一人の自覚によって、た

ゆみない環境美化への努力の積み重ねによって実現が可能であります。そのためにもこの運動は住民生活の中に密着し、日常不断に続けられなければなりません。そこで県下全域で県道美化の活動をいっせいに展開し、あらためて郷土をみつめなおすとともに、この運動の一層の推進をはかることを目的として左記のとおり「県土美化デー、郷土を美しくする週間」を実施します。皆さんのご協力をお願いします。

あの子もこの子も、すくすく育ってほしい。誰もがそう願っているながら、わたしたちの暗い話題が絶えませんが、これの防止は、社会に住むわたしたちの義務です。地域の人、一人一人が関心を持ち、地域全体で活動し、明るい村を作りましょう。



社会を明るくする運動

四、空き地に花と緑を育てよう。

広報七月号「わたしのふるさと」の記事の中に、自然をフルに利用して村中の道端に花を咲かせたいとありました。私達婦人会は今年度の計画、経済、美化運動、組織作りグループ活動として花いっぱい運動をはじめ、村内約六十の部落にサルビヤ、マリーゴールド、百日草の三種類を配りました。



婦人の広場

た。舗装されてきれいになった道路には空地が減り、苦心のすえ古タイヤのフラ

青年の広場

「楽しくゆかいに過ごした、上・中津江合同キャンプ」

さる、七月二十日、二十一日の両日、中津江村青年団と上津江村青年団の親睦合同キャンプが久住の赤川キャンプ場において開催されました。さいわい梅雨あけとなり、前日までの雨もどこへやら、青空の広がる良い天気恵まれた久住山

のふもとでのキャンプでした。午後五時入営、テント設営、ファイヤー準備等で一汗かき、夕食は女子団員が腕をふるって作ったカレーライスを食べながら、両青年団の自己紹介をして、お互いの緊張をほぐして次の催しものキャンプファイヤーを行ないました。夜空に大きく燃えるファイヤーを囲み、歌やゲーム、各班にわかれての演技等で楽しくゆかいに過ごしました。翌日は昨夜の興奮もさめやまぬまま、昼までのんびり



ワポットを作った部落もあります。しかし心ない車の運転手の人がつきとばしたり、乗りあげたり、また土手に植えた花苗は選挙候補の立札をたてるため、何人もの人にふみにじられてなくなったりしました。でも協力して下さる方もいました。農家で忙しい会員の人がかわり、非農家の方々が花苗を植えて下さった部落もあれば、タイヤのフラワーポット作りを手伝って下さった方、ヒマワリ、コスモス、アジサイ等を植え、ムードで過ごし、その日の入営者、大分商業高の四百人の生徒におされ、名残り

おしみながら家路へとつきました。合同キャンプは初めてのころみで隣同士の村に住みながら、青年団等での交流が少なく村内だけの行事に振り回されている現在、両青年団の親睦を深め、団活動だけでなく、個人としての交流も発展させようと言う意気込みで行なわれました。参加者が予定より大幅に少なくなりましたもの、両青年団の親睦の意義は深く、これからの交流を期待したいと思います。

らっていたが、「そんな馬鹿なことがあるか」と思っている時ついに実行し、恐る恐る数匹を捕って持ち帰り竹串にして、これを焙ろうとしたが、やがて家なりがして、自在カギを伝って白蛇がおりてきて串をくわえて上がっていくのを見て、市助は仰天した。市助はその不心得をわび、残りの魚を串から抜き、すぐその足で田ノ口に行きこれを放ち池畔にぬかづいて涙を流しわびた。それから恐れていた神罰が市助を苦しめ、足がたたなくなり、これが軽くなると家人が病気になるなど、また凶作があったり不幸が続いた。そしてホシヤドン(今の神官)に何とか助けてくれるように願ったホシヤドンは「これは水神の神罰であり、水神を祭り子々孫々まで毎年七月一日にお祭りをするよう」といったのである。市助は早速水神を祭り祈願の効が奏したのか不幸が少なくなったかながら毎年旧七月一日に続けられている。

(資料 中津江の文化)

ワンちゃんの飼主さんへ

毎年、犬を飼う家庭は、だんだん減っています。野犬のほうがかかり多くなっているようです。特別に大きな被害はでていないようですが、単車を走らせて



いたら、野犬が後から追いかけてきたために運転を誤り、岩にぶつけたというこ

運転者法令講習会のお知らせ

本年度の交通法令講習会が、次のとおり開催されます。

日に日に変化する交通事情に即応するには、正しい交通ルールの知識が必要です。運転免許所持者は全員、受講してください。

☆日時☆ 九月一日(日曜日)

午前九時から受付

☆場所☆ 中津江中学校体育館

☆携行品☆ 運転免許証、会員証、分会費、車両会費

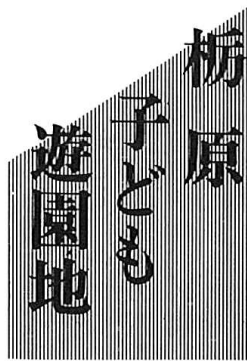
○分会費一人百円

○車両会費(一台につき)

普通車以上は五百円、軽自動車自動二輪及び五十一以上原付は三百円、五十以下原付は百円です。

とはおこつています。庭にふんをしたり、残飯を食べ散らしたりして困るといふことも、いくつかの部落であります。また幼い子供さんに危害をくわえ、大怪我をさせたと話も多くあります。昼間はつないでいて

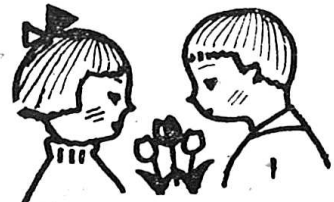
も夜にとなれば放し飼いにしなければ、番犬にならないという事で放しているところもあります。しかし、そのままにしておいたために野犬になってしまったという家もありますので、できるだけ放し飼いにしないよう十分に気をつけて下さい。野犬がいる部落は住民課あてに知らせして下さい。



栃原子ども遊園地が完成しました。元気で明るい素直な子どもを育成することを目的として、つくられ完成した栃原子ども遊園地。毎日、子どもたちが集まり、楽しく遊んでいるところを見かけます。面積約六百平方メートルで、その中にはブランコ、シーソー、鉄棒、すべり台、砂場、バスなどを置いて、子どもたちに喜ばれています。特にバスが評判が良く、中にはいって運転のマネをしたり、本を



もって読みふけています。栃原子ども遊園地は栃原の住民のみなさんが強く希望され、資金などもみなさんの寄付によりつくられたもので、日曜日、祭日など暇な時を利用して整地から完成までもっていったものです。今年の四月下旬から整地をはじめ、一ヶ月後の五月下旬にできあがり、六月の下旬にはバスを買い受けて、いよいよ完成しました。



雑記

※立秋(八日)、夏に弱い人は、ほっとしていることでしょうか、まだまだ暑さはつづきそう。そして、いよいよ台風シーズンがやってきます。お宅の対策はもうたてているでしょうか ※夏休みになったら……と計画をたてたことでしょうか、さあ、どのくらい計画が進んでいるか、ふり返ってみましょう。学校の夏休みも、終りが近づいています。 ※はやいものです。もう今月号の発行日が近づいてきました。まだ一週間ある、三日あると思えば、はや一日前まで追い込まれてしまいました。そんなくり返しのこの仕事。 ※庭のほうから聞こえてくる虫の声。まちがいなく、秋はそこまできています。 コオロギ、マツムシ、スズムシ……。去年もききました。今年もきけそうです。 きつとこれからも、きけることでしょうか？